



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/04/08

あっさり黙示録 #58
地上再臨のキリストを深掘りする
黙示録 19 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。いよいよ今日から、**地上再臨のキリスト**についての預言です。黙示録は6章から18章までは7年間の艱難時代の預言です。19章11節からは、地上再臨のキリストがハルマゲドン戦争で反キリスト軍を打ち負かすというところに来るんですね。**世界最終戦争**の預言が出て来ます。

今から約2000年ほど前、イエス・キリストはユダヤの田舎のベツレヘムという村に誕生なさいました。処女マリアから産まれたのです。この最初の誕生を記念するのがクリスマスです。

クリスマスのメッセージで「イエスは馬小屋で産まれた」という説明をよく聞きますが、これは正確ではありません。聖書のどこにもそんなことは書いてないんです。馬小屋ではなく、飼葉桶に寝かされたとあるんですね。馬小屋ではない。

なぜそう言えるのか。当時、馬は戦場で使う兵器でした。戦車などの突撃兵器として馬は必要不可欠のものでした。当時のエンジンと言ってもいいでしょう。なのでローマ帝国は、色んな国々を制圧して支配下に置いた時、その民族が馬を飼うことを禁じたのです。今の日本人の感覚で言うなら銃刀法違反ですよ。許可なく銃を持っていたら逮捕されますね。それと同じです。当時の馬は兵器だった。だから、馬小屋というのはあり得ないのです。

キリストは平和のために来られました。処女マリアを通して地上に来られたことを**初臨**（しよりん）と言います。初臨のキリストの目的は罪人を救うことです。初臨のキリストは十字架に掛かり、墓に葬られ、3日目によみがえり、そして、オリーブ山から天に戻られました。

しかし、キリストはまた来られます。**再臨**（さいりん）/Second coming（セカンド カミング）と言います。この再臨について書いてあるのが**黙示録 19 章 11 節**。

また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「確かで真実な方」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。

私は黙示録を書いているヨハネ。天は第3の天/パラダイス/神がおられる天の国/神の国。この天国が開かれているのを見た。

新約聖書には**天が開かれているのを見た**という言い回しが5回出て来ますが、5回とも、神が人間に直接的に介入する時に使われています。

19 章 11 節では決定的な介入、なんと、神/メシア自らが地上に再臨するというわけですね。

すると見よ（注目しなさい）。白い馬に乗っている方が再臨のキリストです。先ほど申し上げたように、馬は平和の道具ではなく戦場で用いるもの。つまり、キリストが戦場に乗り込んで来たという文脈です。もっと言うと、軍馬にまたがったイエス・キリストが、ハルマゲドン戦争の戦場に来られたということなんですね。

義をもってさばき、戦いをされる。この戦いが**ハルマゲドン戦争／世界最終戦争**ですが、ハルマゲドンという場所で戦争するわけではありません。エルサレムです。ハルマゲドンはあくまでも、世界最終戦争に臨むために反キリスト軍が集合した場所。集合場所なんですね。ここからエルサレムに向かって下りて行くんです。

さて、義をもってさばき、戦うために再臨されるキリストは「**確かで真実な方**」と呼ばれます。「**確かで真実な方**」というタイトルを持っている再臨のキリストが、やがてエルサレムに来られると言っているわけです。今の**新改訳聖書 2017**の前の**新改訳聖書第3版**では**忠実で真実な方**でした。新共同訳聖書では**誠実で真実な方**。確かで忠実で誠実で真実な方。これが再臨のキリストです。

では、何に対して**確かで忠実で真実**なんでしょう。約束に対してです。神は罪でめちゃくちゃになった世界を再生される。罪によって破壊された世界を良い世界に復元される。そのために復元を阻む悪の勢力を一掃し、そうして、神の理想が完全実現している世界がもたらされる。すなわち、世界の本当のゴールは究極のハッピーエンド。これが聖書に一貫しているメッセージです。

でも、「その約束はいつになったら実現するんですか」と言いたくなるほど、この世界では次から次に、戦争やパンデミックや恐ろしい事件があります。しかし、それらはみな、キリストの再臨で終わるのです。神が約束された約束は、**確かで真実な方**によってすべて実現する。これが地上再臨のキリストの目的です。

地上再臨のキリストはあと3つの名前と呼ばれています。この名前の意味を知ることによってキリストはどんな方なのか、神の人類救済計画／マスタープランとは何なのかがよく分かるようになるので、次回からは3つの名前の解説をしていきます。ぜひ続けてお付き合いをお願いします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

-----+
☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017